

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名		市営住宅整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	事業部	課長名	岩男 竜彦
	施策	18	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	松岡 巧晃
	施策の柱	57	公営住宅の充実			所属班	建築住宅班	(内線)	2233
予算科目	会計一般	款 8	項 5	目 2	事業連番 11646	根拠法令	公営住宅法 合志市営住宅条例		成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ④
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 ~ 32 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和63年度に建設した市営御代志住宅を平成25年度に策定した「合志市公営住宅等長寿命化計画」の活用計画に基づき大規模な改修工事を行うもの。また、平成25年度の分析調査により天井仕上げ材にアスベストの含有が判明したので、アスベストの除去工事も併せて行うもの。
【業務の流れ】	平成27年度～平成28年度：交付金事業申請⇒交付金交付決定⇒改修工事設計発注⇒入居者工程説明⇒改修工事発注⇒改修工事実施（空き部屋改修⇒入居者移転⇒入居者室改修⇒繰り返し）
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	入居者より水周り等の修繕の要望が多くあげられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	御代志住宅の大規模改修に伴う実施設計と改修工事	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 改修工事 (4棟26戸)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 補修件数 イ:	予算の主な増減の理由 御代志住宅大規模改修2ヵ年による債務負担行為の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 入居者で補修を要望するもの		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件 ア: 補修の要望件数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全、快適に住むことができる		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % ア: 要望どおりに補修ができた割合 イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 快適な住環境で暮らすことができる		総トータルコスト 全体計画 ～32年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件		0	12	10	12				
	イ									
② 対象指標	ア 件		0	12	10	0				
	イ									
③ 成果指標	ア %		0	100	100	0				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円			24,772	21,054			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円		22,720	41,900	25,500			
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円		25,040	4,629	25,805			
		(A) 事業費計	千円	0	47,760	71,301	72,359			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	0	3	4	3			
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	0	350	0	650				
	(B) 人件費計	千円	0	1,299	0	0				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	49,059	71,301	72,359				

事務事業名	市営住宅整備事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 改修を行うことで達成した	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 次年度終了であるため	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 次年度で終了であるため	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 財政状況を踏まえ、最小限で予算措置を行なっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の人員で事業を行なっているため、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 全戸改修を行うため公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 今後は、PPP/PFI等を活用し民間主導による事業の実施を検討することで見直しの余地はある。	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						